

令和2年3月31日

令和元年度活動報告書

特定非営利活動法人
地域学習プラットフォーム研究会

1 事業の概要

インターネット市民塾等の実践を通して積み重ねてきた成果を、「生涯学習プラットフォーム」として広く役立てるため、研究開発＝「深める」、普及啓発＝「広める」、連携促進＝「つなぐ」をキーワードに事業を進めました。

2 主な事業

(1) 研究開発事業

インターネット市民塾の実践を、ICTを活用した地域人材育成、地域活性化を図る地域プラットフォームとして位置付け、これまで積み重ねてきた実践研究の成果をさまざまな形で地域に提供し、「市民の地域人材化を促進するプラットフォーム」が形成されるための研究に取り組みました。

① 学習成果活用支援の研究

地域人材の育成・顕在化と地域活性化は、各地のインターネット市民塾等が目標とする活動であり、平成23年度から学習成果の評価や地域人材認定の試行研究に取り組み、地域デビューやセカンドステージ形成を応援してきた。

平成30年度からは、同様の課題意識を持つ茨木市での試行調査を通じて、支援プログラムの改善や支援人材養成の課題研究を進めてきた。

今年度は、引き続き茨木市での試行調査を行い、特に支援人材の養成を視点に評価・検証を行なった。

●「地域デビューのための活動プランづくり講座」（茨木市との共催事業）概要

日程	内容	サポート等
説明会 9月25日 (水)	さまざまな取り組み方、事例学習 進め方、日程について	事例紹介
第1回 10月10日 (木)	経験、学びの振り返りとまとめ 生かしたい対象の検討	事例紹介 生かせる場の情報提供 個別相談、アドバイス
第2回 10月18日 (金)	生かしたい対象のニーズを調べる ニーズに応えるための検討	対象機関・組織への連絡・照会 必要となるスキル等の情報提供 個別相談、アドバイス
第3回 11月8日 (金)	取り組みの目標の検討 取り組みの方法、体制の検討 活動プランのまとめ	活動グループの紹介 活動プランのまとめ方 個別相談、アドバイス
第4回 11月20日 (水)	活動プラン発表会	活動プランの告知機会の紹介 事後相談、アドバイス

●研究会開催概要

第1回研究会（令和元年9月25日、茨木市立生涯学習センター）

相談員による支援プログラムの評価の観点について

第2回研究会（令和元年11月20日、茨木市立生涯学習センター）

参加市民、相談員を交えた実施結果のまとめ
第3回研究会（令和元年12月20日、茨木市立生涯学習センター）
相談員、研究オブザーバーによる支援プログラムの評価

*詳細は、別途報告書をまとめ公開を予定

(2) 普及啓発事業

地域づくりの有効なアプローチとして「市民の地域人材化を促進するプラットフォームづくり」を提案し、インターネット市民塾の実践を通して取り組んだ研究の成果やノウハウを、広く役立てる普及活動を推進しました。

① セカンドキャリアの形成等を支援する活動団体へのプラットフォームの提案・構築支援

令和元年に発足した「NPO 法人キャリアネットワーク北陸」（岡野絹枝理事長）では、人生100年時代に向けた定年後のセカンドステージに新たな活動を始め流ための学びやマッチングを活動目標としている。

この団体に対して、当研究会のこれまでの成果を紹介するとともに、ネット上の実態的な活動のためのプラットフォームを提案しました。

この提案を受け入れていただき、当研究会のWebサーバ上に活動団体のプラットフォームの構築を開始しました。正式オープンは令和2年度上期を目指しています。

② 高齢者情報バリアフリー支援事業

モデル地域（富山市）での実践をもとにした、他地区での導入・運用を支援する活動を行いました。

・「ポケットサロン小杉」

富山県射水市で地域のシニアと短大生等の学生が学び合い、共通のテーマで街中の活性化を考える活動の発足と運営を支援。

毎月開催する例会では、スマートウォッチを利用して日常的な健康データの記録を行い、健康意識・知識を学ぶとともに、スマートフォンの新たな活用を学んでいる。

・他地区との課題交流

大阪茨木市での活動状況を調査し、今後の発展についてのアドバイスを実施

そのほか下記の活動を行いました。

③ 市民講師の出番づくりを通じた地域人材育成

インターネット市民塾等で講座を開催する市民講師を対象に、その実践的知識や経験を生かした地域活動の場を開発し、出前教室「寺子屋の日」を実施しました。

富山県富山市放課後子ども教室等で継続的に活動。2回、29名の子どもたち

に出前教室を開催。

活動を通じて、講師活動の実践評価と勉強会を実施し人材育成活動を実施しました。

④ 活動発表

富山県等が主催する「元気ボランティア・NPO フェスティバル」で、高齢者情報バリアフリー支援やe手仕事図鑑を活用した教育支援活動の発表を行いました。

⑤ オフィシャル Web を通じた活動情報の発信

(3) 連携促進事業

各地のインターネット市民塾等の相互の連携、および各地から参加する会員相互の協働による事業活動の促進を図りました。

① e手仕事図鑑を活用した教育支援

各地の教育支援で活用するe手仕事図鑑のコンテンツを継続的に管理・提供しています。

② 研究会 Web サーバの共用活用

会員によるeラーニング講座の開催などへの利用に備えました。